

科目名	保 育 原 理	教員名	子どもの 淀野 順子	開 講	保育科	1年次	前 期
<p>・目的と内容</p> <p>現在、子どもをとりまく状況は日々変化しています。また、幼稚園・保育所などの保育の現場をとりまく状況も変化しています。そのような中で、保育者は、目先のことにのみとらわれず、その状況にふさわしい保育を行なわなければなりません。状況にふさわしい保育をするためには、保育の現状を理解し、課題とは何かを考える必要があります。そして、保育についての基本的な知識を身につけ、その知識を実践に生かす力を養うことが大切です。</p> <p>そこでこの授業では、まず保育所保育指針や、保育の内容・方法などについての基本的な知識にを身につけ、保育の全体像を捉えることをねらいとします。また、保育の意義や、思想・歴史の変遷について理解し、現在の保育の状況と課題を考察することを目指します。</p> <p>保育とは何かを構造的に捉え、あるべき保育について一人ひとりが考え、そのためにどのような実践をするかを意識化し、具体的に考える機会にできるよう、講義を進めていきます。</p>							
<p>・授業計画 [ 単位数：2単位、授業週数：15回 ]</p> <p>[ 前期 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育とは何か（養護と教育）</li> <li>2. 保育の意義、理念と概念</li> <li>3. 保育観の成り立ち（保育思想の歴史と変遷）</li> <li>4. 保育所保育指針の制度的位置づけと要録</li> <li>5. 保育の場（保育所保育と家庭的保育）</li> <li>6. 保育者の専門性</li> <li>7. 保育所保育指針における保育の基本</li> <li>8. 子どもの理解と保育（生活、遊び、発達過程）</li> <li>9. 保育の環境</li> <li>10. 家庭・学校・社会との連携</li> <li>11. 子育て支援対策の展開</li> <li>12. 保育の現状と課題</li> <li>13. 保育の評価（計画・実践・記録・評価・改善）</li> <li>14. 筆記試験</li> <li>15. 試験解答・まとめ</li> </ol>							
<p>・講義の進め方</p> <p>適時 VTR などの教材を使用しながら、基本的には講義形式で進めます。</p>							
<p>・試験と成績評価</p> <p>筆記試験と小レポートにより評価します。</p>							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>保育には、子どもの成長を考えるだけでなく、子どもがよりよく成長できるよう、家庭や地域をはじめとする環境を整えていくことが大切です。現在のさまざまな状況を知り、子どもや社会の基本的な知識を身につけ、構造的に理解することを通じて、何が子どものよりよい成長なのか、どのようにして環境を整えていけばいいのかなど、一緒に考えていきましょう。</p>							
<p>・使用教材</p> <p>教科書：谷田貝公昭・岡本美智子編『保育原理』一藝社          文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館          厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館</p> <p>参考書：</p>							